

保護者のための
就活サポートブック

2026

Support Book



工学院大学 学長
今村 保忠

学長メッセージ

本学の建学の精神は、「社会・産業と最先端の学問を幅広くつなぐ「工」の精神」というものです。創立以来、「工学」を学んで、社会や産業の要請に応える人材を輩出し続けており、高い評価を受けてきました。21世紀の社会・産業は、多様化、多文化化、高度化、複雑化、グローバル化などと表現されます。そこでは、創造力、発信力、柔軟性に富む人材が求められています。これを受け、新たな知見・価値を創造する、21世紀におけるものづくりを担う人材、21世紀工手の育成を進めています。

本学のこれまでの就職の状況は、安定的に好調を維持しております。このような状況の背景には、「大学での学びや研究を活かしたキャリア形成・就職支援」の方針のもと、本学ならではのキャリア形成支援プログラムと就職活動のサポート体制が機能しているものと考えています。1・2年次から時期に応じたキャリア形成支援プログラムを用意しており、例えば、1年次のロジカルライティングでは、文章力とコミュニケーション力を鍛えることができます。2年次のキャリアデザイン科目では、業界・業種の研究や、将来について考え、就職への意識を高めていきます。3年次（大学院1年次）からは専門科目や研究活動も増えてくるため、学業と就職活動を効率的にバランスよく進められるように年間プログラムを定めて、支援しています。年間プログラムのひとつとして、学科や専攻毎の学びや研究に特化した就職ガイダンスを実施しています。

大学院進学を経ての就職は大事なキャリアパスの一つです。大学院での学びでより深い専門知識を得られるだけでなく、研究活動の成果は大きな自信になり、次の可能性を大きく広げることになります。大学院での就職支援も充実させています。

経験豊富なスタッフのいる就職キャリア支援センターの活用を、ご家族の皆様からもお勧めください。皆様のご理解・ご協力のほどをよろしくお願い致します。

CONTENTS

- P.02 第1章 | 保護者からの支援が求められる現在の就職活動
- P.03 [就職環境の変化] 保護者の時代とは様変わりした現在の就職環境について
- P.05 [現在の就職活動スケジュール] 現在の就職活動は準備期間を含めると1年間の長丁場
- P.07 [現在の就職活動の特徴] 多様化する就職活動の流れ
- P.09 第2章 | ご家庭での就活サポートのポイント
- P.09 やる気を引き出すOKワード、言ってはいけないNGワード
- P.11 [就活は、保護者も不安。だから知っておきたい] 保護者のための就職活動Q&A
- P.16 [Check!] 多様化する「筆記試験」と「面接」
- P.17 第3章 | 工学院大学の就職サポート体制
- P.17 就職キャリア支援センターが提供する主なサービス
- P.18 主な就職先（一般企業・公務員）
- P.18 数字で見る実績

第1章

保護者からの支援が求められる現在の就職活動

めまぐるしく変わる社会状況の中、
 学生は安定を求め、有名企業への志望が集中する一方で、
 知名度の低い優良企業（特にBtoB）への志望はなかなか増加しないなど、
 アンバランスな就職採用状況が続いています。
 視野が狭いばかりに、自ら厳しい就職活動を招いてしまい、
 疲弊している学生も多いようです。
 このような就職環境だからこそ、保護者の方のご理解・ご支援、
 ご家庭での環境づくり、適切なアドバイスが不可欠なのです。

現在の就職活動のポイント

社会情勢の変化

- 新卒採用で職種別採用が増えている
- 複数の内定を取る学生と苦戦する学生の二極化



学生への負担

- 厳選採用時代
- 1年以上におよぶ活動の長期化（準備期間を含む）
- 複雑になった採用試験



就職活動の変化

- 個としてのチカラが求められる
- 採用試験を通過するための多くの対策
- 3年生夏インターンから就職活動が開始（採用活動の早期化）



保護者に求められること

- 就職活動への理解と精神的な支援
- 身近な社会人としてのアドバイス
- 就職キャリア支援センターへの相談を促す
- ご家庭での環境づくり
- 経済的な支援



※本資料における「インターン」は就職情報サイトなどの呼称 「インターンシップ&キャリア」を含む

就職環境の変化

保護者の時代とは様変わりした現在の就職環境について

就職環境は年々大きく変わっています。

社会状況の変化で就職状況は短時間で大きく変わり、

昨年までと同じようなスケジュール感覚では成果が得られない状況も見られます。

ここでは現在の就職環境をまとめました。

採用活動のスケジュール変更で大きく変わる就職環境

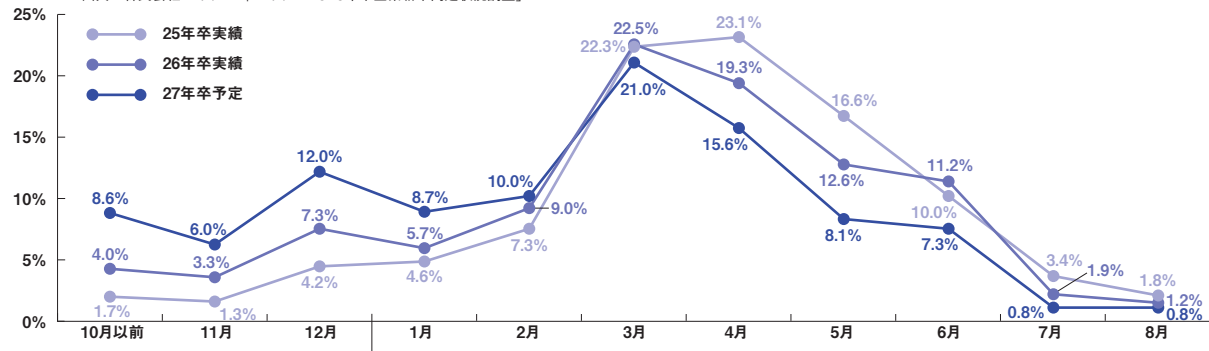
現在は、企業の情報収集も企業へのアプローチの方法も、何でもネット、スマホです。スマホであらゆる情報にアクセスでき、履歴書やエントリーシートのWeb提出、動画選考も増えています。個別の会社説明会が随時行われるのは当たり前。インターンが多くの企業で普通に行われるようになり、企業側も良い学生と出会うための努力を惜しみません。

そのため、3年次夏インターン参加など、計画的に就職活動をすることで自分に合った企業と出会うチャンスを増やすこととなります。ただし、専門的な内容が増えてくる3年次以降の授業をしっかりと受講することが肝要。大学での学びが就職後にどのように活かされていくか具体的なイメージと結びつけることが出来るようになります。

今後さらに、社会がどのように変化するかは予想もつきません。そのような中、就職キャリア支援センターは適切に対応して、学生をサポートしていきます。

企業の内々定出し開始時期

出典：株式会社マイナビ「マイナビ2026年卒業生新卒内定状況調査」



大学・大学院での学び、研究を生かした

「自分にとっての優良企業」の発見こそが、成功の鍵

国内外の景気の先行き不透明感が強まり、従来以上に企業の厳選採用が続くことが予想されます。そのため、企業はあらゆる角度から人物を見極めようと、コストをかけて多様な試験や面接を実施しています。採用担当者にとっても多様な試験や面接は大きな負担となっており、軽減措置として選考の初期段階において書類でふるいにかけている状況です。応募が集中する大手企業はその傾向が強くなるものの、企業の知名度や規模に関わらず「優れた人材を少数精鋭で育てたい」という気持ちはどの企業も変わりません。

一方で、学生自身も時間的制約から応募できる企業には限りがあります。そこで徹底した業界・企業・職種研究を行い、大学・大学院での学び、研究を生かした「自分にとっての優良企業」を発見することが成功の鍵となります。学業に加えて、それらの研究や企業ごとの選考対策を行うのは学生にとって大きな負担です。したがって保護者の方の理解と協力が求められます。

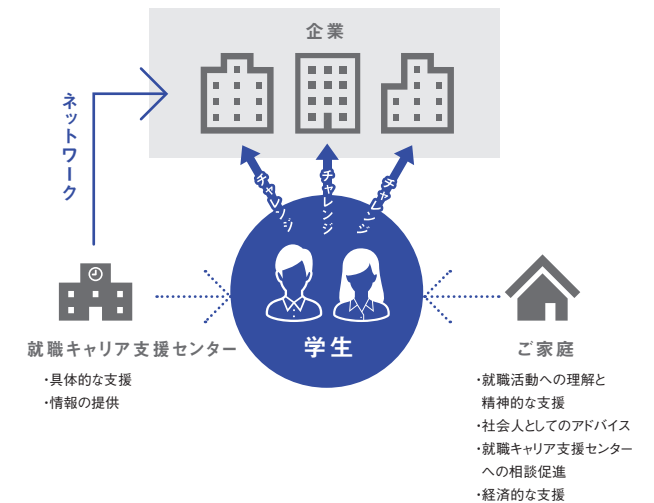
新卒での就職がチャンス

就職活動の波に乗り遅れ、「とりあえず卒業して来年アルバイトをしながら再チャレンジする」というようなことを言い出したら要注意。卒業後の就職活動は、新卒に比べてハードルが上がると言われています。募集要項にも「20XX年3月卒業見込み」となっているように、既卒は新卒とは区別され、卒業後のフリーター等の期間は「ブランク」とみなされる場合があります。経験がなく年齢だけ高い新人である既卒者は、それだけで選考を通過できないこともあります。このようなことから、一度フリーター等になってしまうと、そこから正社員になれず、フリーター等を続けてしまう傾向にあり、生涯賃金でも大きな差が出てきます。「就職できないのなら、養ってあげよう」という考えは禁物です。新卒で就職できるようにアドバイスするのも保護者の方の重要な役割です。

保護者ならではのサポートが求められる

めまぐるしく変わる就職状況の中で戸惑っている場合には、保護者の方の理解と支援が必要です。もちろん、過度な干渉は百害あって一利なし。社会人として自立できるよう力を貸してあげてください。

現在のストレスの多い就職活動では、精神的な支援、最も身近な社会人の先輩としてのアドバイスが求められています。自らの人生を振り返り、ご自身の就職活動経験ではなく「なぜ働くのか」、「仕事とは何か」を伝えてください。本人が気づいていない長所も、成長を見守ってきた保護者の方ならではの就職活動の自己分析に役立つアドバイスもできるはずです。



現在の就職活動スケジュール

現在の就職活動は準備期間を含めると1年間の長丁場

現在の就職活動は複雑かつ長期化しています。

このページでは、現在の就職活動の主なスケジュールをまとめました。

今、子弟がどのステップにいるのか、次に何をすべきか、把握できるようにしましょう。



「学業・研究活動と両立」しながら
 戦略的・計画的に進め、決してあきらめないこと！
 家庭・周囲の支えが大切！

低学年次から少しずつ。自身のキャリアプランを考え、就職活動を進めよう

■ 低学年次 ■ 3年生・大学院1年生(4月～) ■ 3年生・大学院1年生(9月～)

本学では1・2年生からキャリア教育がはじまり、自らの職業観やキャリアプランを明確にしていきます。早期から就職への意識を高め、学生生活を充実させていくことが重要であり、そういった意味では、低学年次から就職活動の準備はスタートしていると言えます。

自己分析を行ったり就職関係のガイダンスに参加したりと、就職活動への本格的な準備を始めます。また3年生の夏には、長期休暇を利用して企業で働くことを体験するインターンが行われます。業界・企業・職種研究を深めることが大切な時期です。

各企業のインターンやセミナー、卒業生訪問を通して、具体的な仕事内容を理解していきます。志望動機や自己PRを記入するエントリーシートの提出も始まり、実質的な採用試験がスタートします。筆記試験もすぐに始まりです。準備を怠らないようにしましょう。

独自のスケジュールで採用選考を進める企業もあります

就職活動前半までに内定が取れていなくてもチャンスがなくなったわけではありません。採用活動を後半から本格化する企業や通年採用を行う企業もありますので、あきらめず活動を継続することが大切です。ただし、なかなか内定を得られないことで、ストレスを抱え、精神的に不安定な状態になる学生もいますので、そんなときこそ、保護者の方の適切なサポートが必要となります。

学業や研究活動との両立

就職活動が本格化する学部3年生、大学院1年生は、専門科目や研究が本格化する時期にもなります。特に理工系学生の就職においては、学業・研究活動をしっかりと行い、専門知識を身につけておくことが何よりも企業へのアピールになり、志望企業への内定の近道になります。学業・研究活動を最優先としながら、就活を効率よく行うために、就職キャリア支援センターの年間行事をうまく活用するよう助言をお願いします。

現在の就職活動の特徴

多様化する 就職活動の流れ

今や、オンラインでのエントリーは常識。

さらに、多種多様な筆記試験・面接など、採用形式も数多くあり、採用試験は複雑になっています。

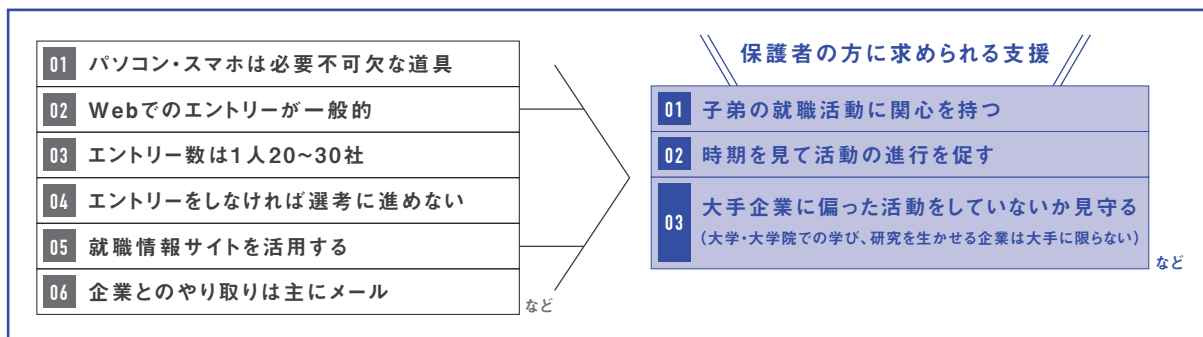
ぜひ知っておきましょう。

オンラインを活用した企業へのエントリー

エントリーとは企業に対して「就職先として貴社に興味があります」と意思表示をすること。エントリーをすると資料が送付されたり、会社説明会の案内が届いたりします。

方法は企業によってさまざまですが、オンラインを活用して、企業の採用ホームページや、就職情報会社が運営する就職情報サイト上で行うのが一般的です。エントリーの締め切りが過ぎてしまうと、その後の選考に進めなくなってしまいます。また、就職情報サイトは、多くの企業の採用情報が掲載され、選考に関する企業とのやり取りもサイトを通じて行われることから、パソコンやスマホがないと就職活動を満足に進められないのが現状です。

■オンラインを活用した就職活動のポイント



壁にぶつかっていたら話を聞き、大学の就職キャリア支援センターを利用するようにアドバイスしてください。

採用試験の第一関門である「エントリーシート」

エントリーシート(ES)とは、住所や氏名のほか、「志望動機」や「自己PR」、「学生時代に力を注いだこと」など企業独自の質問項目がある応募書類のことです。提出することで、企業への正式な応募となります。多くの企業はエントリーシートをもとに書類選考で応募者を絞り込み、面接の際にも重要な資料として活用します。採用試験の第一関門であり、「どのような人物で、何がしたいのか」を判断されるため、学生にとって大変労力のかかる書類になります。

保護者の方は本人が気づいていない長所や能力をアドバイスしてあげてください。保護者だからこそわかることもあります。書き上がったシートに目を通して、ご自身の経験をふまえてアドバイスを行っていただけるとベストです。

人材を見極める多様な採用試験 P.16 [Check!] 多様化する「筆記試験」と「面接」を参照

筆記試験は主に「学力や知識を問う能力試験」と「職務の適性をはかる適性検査」の2種類。専門業者が作成したテストを使用する企業が増加し、指定された試験会場でパソコンを使って受検する「テストセンター方式」も普及しています。また、論理構成力、思考能力、文章表現力、価値観を判断するために長文を書かせる「論作文試験」を導入する企業も年々増えています。

面接は採用選考の中でも企業が最も重視するプロセスです。最近は多種多様な形式で実施され、それぞれ評価されるポイントも異なります。言葉遣い、コミュニケーション能力、論理的思考、状況判断能力などが注目されますが、企業がもっとも知りたいのは学生の「人となり」です。準備をしっかりと行い、自然体で臨むことが大切です。

就職活動スタイルの多様化

従来までは学生の動きは夏インターンと春からの本選考がメインの動きでしたが、近年では夏インターン→秋冬インターン→早期・通常選考と活動内容も複雑化しています。企業も、インターン参加者を対象とした早期選考やリクルーター制度の復活、キャンパスでのリクルーティングなど、多様な採用活動へと変化しています。情報をしっかりキャッチしつつも、振り回されないよう、よく考え着実に動くことが重要です。

大学院への進学もひとつの進路

理工系学生は特に、今やっている勉強や研究をもっと極めたいと思うと、進路のひとつとして進学を考えるようになります。進学するということは、さらに学費がかかるということで、安易に進学したいとはいえないものです。奨学金もありますが、やはり保護者の方からの援助が必要となるケースが多いです。日ごろから将来について話し合う機会を設け、何を考えているのか、どうしたいと思っているのか、聞き出して頂きたいです。そして、夢を叶えるべく、援助をお願いします。企業からの大学院修士生の需要は高いものがあります。

第2章

ご家庭での 就活サポートのポイント

やる気を引き出す

OKワード

良いところを見つけて褒めて、自分の良さに気づかせる。折れそうなほど弱った心には、自信を与えることが何よりも大切なこと。社会人としての経験を話したり、つねにポジティブで、思いやりのある言葉を投げかけてあげましょう。

- OK 「小さい頃からこういうことが得意だったよね」
- OK 「その会社、〇〇っていう新製品を出したところだろ」
- OK 「世間ではあまり知られていないけど、その業界には〇〇という会社があるよね」
- OK 「面接のやり方、一緒に見直してみない？」
- OK 「あなたは気づいていないかもしれないけど、こんな点はとても良いところよ」
- OK 「〇〇さんは〇〇に優れているから採用されたのね。でもあなたには〇〇があるじゃない。自信を持ちなさいね」
- OK 「〇〇をしている時がいちばん楽しそうだったから、こういう仕事も向いているかもしれないわよ。トライしてみたら？」
- OK 「アルバイトは一生懸命だったわよね。どんなことがあなたを熱中させていたの？」
- OK 「自分の好きなことから、企業を探してみるのもいいんじゃない？」
- OK 「どんな会社かも大事だけど、どんな仕事をするかが重要なんだよ」
- OK 「企業の規模や人気だけにとらわれるな。時代は変わるんだから」
- OK 「そこはどんな会社なの？ お母さんも使ったことのある商品があるのかしら？」

やる気を引き出す

OKワード

言うてはいけない

NGワード

初めての経験に戸惑い、なかなか思い通りに進まない就職活動。
長引くほどに、大きな不安とストレスを抱えてしまいます。
そんな時だからこそ、何気ない一言に勇気づけられたり、逆に傷ついたり…。
保護者の方なら、子弟にどんな言葉をかけてあげられますか？

言うてはいけない

NGワード

ネガティブで、不安に思わせる内容、やる気を失わせるような言葉は絶対NG!
保護者の方の考えを一方向的に押しついたり、誰かと比較したり、プレッシャーを与えたり、逆に甘えの気持ちを引き起こすような一言も避けるように心がけましょう。

- NG 「そんな会社知らないぞ。大丈夫なのか？」
- NG 「そんな職種、お前には向いてないんじゃないか？」
- NG 「いい会社がないのなら就職浪人して来年再チャレンジすれば？」
- NG 「フリーターをしてでも満足のいく会社を探したら？」
- NG 「そんなところ将来性はあるのか？」
- NG 「お友達はもう内定もらっているんでしょ？」
- NG 「就職するなら地元にしなさい」
- NG 「どこ受けているのか知らないけど、まじめにやっているのか？」
- NG 「そんな成績じゃ、大したところには入れないだろう」
- NG 「趣味の〇〇ばかりやってないでまじめにやりなさいよ」
- NG 「〇〇さんに就職頼んでおくから」
- NG 「営業職は大変だからやめておいたほうがいいぞ」
- NG 「そんな会社はずかしくて親戚に言えないじゃないか」
- NG 「不況にも強いから公務員にしなさい」

就活は、保護者も不安。だから知っておきたい

保護者のための 就職活動 Q&A

保護者の方の時代とは大きく変わった現在の就職活動。

わからないことや聞いたことのない言葉にたくさん出会うのではないのでしょうか。

そこで、一部ですが保護者の方からよく聞く疑問をまとめてみました。

ご家庭でのサポートやアドバイスにぜひお役立てください。

01 就職活動を始める前に

Q 就活生の親が「支援」できることはなんですか？

A 日頃からコミュニケーションをとり、「求められたら助ける」を基本姿勢に。

就職活動は精神的な負担が大きく、一人で乗り切るには荷が重いものです。実家暮らし・一人暮らしに限らず、日ごろからコミュニケーションが取れていると、就職活動についての相談や連絡もあると思います。「求められたら助ける」を基本姿勢とし、時には愚痴でも何でも聴いてあげてください。

ただし、就職活動の費用支援については別物です。株式会社キャリアスによると、2026年3月卒業・修了予定の学生が就職活動にかかった費用は平均80,186円でコロナ禍前に比べると半額程度、うち親の負担額は平均55,821円であったとされています。コロナ禍を経て就職活動にかかる費用は以前より少ないとはいえ、大学生が数ヶ月間で使う額としては依然として高額です。アルバイトが思うようにできず、工面が難しい場合もありますので、こまめに気にかけていただくようお願いします。

Q 就職活動にあたり、大学の成績はどの程度影響しますか？

A 良いに越したことはありませんが、それだけで判断されるわけではありません。

成績は良いに越したことはありませんが、それだけで判断されるわけではありません。ただ、学業への取り組み方がそのまま仕事に対する取り組み方としてイメージされ、選考の判断材料の1つになることもあります。

Q 留年は就職活動に影響しますか？

A 4年間で卒業できなかった場合でも、ほとんどの学生が内定を得ています。

4年間で卒業できなかった場合でも、これまでほとんどの学生が内定を得ています。ただし、「なぜ4年間で卒業できなかったのか」ということは必ず面接試験で訊かれますので、その理由について答えた上で、「現在どれだけ学業に勤しんでいるのか」を伝えられるようにしておくことが望ましいです。

Q Uターン就職のサポートはしてくれるのでしょうか？

A 就職キャリア支援センターに集まる情報や資料、個別相談を活用いただけます。

就職キャリア支援センターでは、全国各地の自治体より送られてくる求人企業リストや合同企業説明会の案内チラシなどを随時提供しています。また、Uターンと東京近郊での就職活動を両立させるための相談にもなっています。

Q 性格がおとなしく、口下手なので面接でしっかり話せるかどうか心配です…。

A 質問を想定し、自信を持って答えられるよう下準備しておくことが大切です。

面接試験になると誰でも緊張してしまうものです。予め質問されることを想定し、自信を持って答えられるよう下準備をしておくことが大切です。特に自己分析を通じ、長所、将来やりたいことなどをできるだけ具体的にしておくことが重要です。また、普段から多くの社会人と話すことも効果的でしょう。就職キャリア支援センターでは面接練習を行うこともできます。

Q インターンに参加すると、その企業への就職は有利になるものですか？

A 志望する企業がインターンを実施しているなら、積極的に参加を。

※「インターン」は就職情報サイトなどの呼称 「インターンシップ&キャリア」を含む

企業によってインターンに対する考え方はさまざまですが、実際に現場で働いてみることは就業観を養う上でも重要な経験です。夏インターンは社会勉強的な意味合いで実施している場合もありますが、秋冬インターンでは、実際に選考に結びつくケースも少なくありません。採用に有利かどうかは一概に言えませんが、志望する企業がインターンを実施しているようであれば、積極的に参加するようにアドバイスしてください。

Q 適性検査はどのように行われますか？

A 種類・方法は多様化。志望企業・業界の実績を調べて自分に必要な試験の対策を。

適性検査の受検方式は大きく3つに分けることができます。

- ① テストセンター: 専用の会場に設置されているPCで受検
- ② Webテスト: 自宅などのPCを使って受検

2021年秋以降、不正防止を目的とした「監視型Webテスト」が続々とリリースされている

- ③ ペーパーテスト: 企業内などでマークシートを使って受検

適性検査の種類によって出題される問題も解答にかけられる時間も異なります。

やみくもに筆記試験の準備を進めるのではなく、志望企業・業界の実績を調べて自分に必要な試験に絞って対策することが最も効果的と言えるでしょう。就職キャリア支援センターでは筆記試験対策ガイダンスを実施しています。

Q 理系の女子学生は就職に不利ですか？

A 不利ではありません。理系女子学生の注目度はますます上がっています。

不利ではありません。昨今では理系女性の活躍により業績を伸ばす企業も多く、その経済効果の高さから政府も理系女子学生を増やすための施策を講じている程です。近年では女性限定の技術職セミナーを開催する企業も多く見られ、理系女子学生の注目度はますます上がっています。

Q 出身大学による不利はありますか？

A 大多数の企業は自由応募が主流。より多くの大学から採用する傾向にあります。

就職情報サイトの普及により、1社あたりの応募者数が増え、全ての応募書類に目を通すことができないため、まずは大学名で選別するという企業は存在します。しかし、それはごく一部の企業であり、大多数の企業は自由応募が主流となる中、より多くの大学から採用する傾向にあります。自信をもって就職活動に臨んでください。

Q 卒業生訪問の仕方を教えてください。

A まずは就職キャリア支援センターへ。卒業生との仲介や情報提供を行っています。

就職キャリア支援センターから直接連絡が取れる卒業生がいる場合には、就職キャリア支援センターが仲介して卒業生訪問をできるようにしています。卒業生がいても連絡先が不明で直接連絡が取れない場合や情報公開の許可を得られていない場合は、自ら企業の人事採用担当者宛に連絡をして、卒業生を紹介してほしい旨をお願いする必要があります。

その他、「リクルーター制度」を導入している企業については、リクルーターの連絡先を直接学生に伝えることができるため、学生は個々に連絡を取って進めています。なお、リクルーターにはさまざまなケースがありますが、大学の先輩で後輩の入社に尽力してくれる心強い卒業生もいます。

Q 低学年次からやっておいたほうが良いことはありますか？

A 勉強だけでなく、意識的にさまざまなことを経験してください。

「今しかできないこと」がたくさんあります。勉強だけでなく、意識的にさまざまなことを経験してほしいと思います。特に、学生プロジェクトや部活動、委員会、サークルなど、集団で何かをするという経験は、貴重かつ重要なポイントです。また、多くの社会人と接する機会を持ち、社会との接点を増やしていくことも良いと思います。

Q 学校推薦での就職の割合はどの程度でしょうか？

A 就職決定者のうち、学校推薦応募が1割という割合です。

就職決定者のうち、自由応募9割、学校推薦応募1割という割合です。理系でも自由応募が多くなっています。しかし、その流れの中でも学科を指定して学校推薦応募枠をいただける企業も毎年一定数あり、内定にも結びついています。

Q 学部卒と大学院卒の就職状況に差はありますか？

A 内定率にそれほど違いはありませんが、職種によっては大学院生が有利な場合も。

内定率についてはそれほどの違いはありません。ただし、職種(ex.研究職・設計職等)によっては大学院生が有利という場合もあります。また、上場企業への就職率は大学院卒の方が高い傾向にあります。

Q 公務員(試験合格)をめざすための準備について教えてください。

A 就職キャリア支援センターでは学内公務員試験対策講座を実施し、業務説明会の情報を発信。

「資格の学校TAC」により技術職をめざす学内公務員試験対策講座を開催しています(申込制・有料)。3年生と修士1年生対象の本講座は通年で各回180分を全71回、1～2年生対象の入門講座は後期に各回90分を全10回のプログラムです。12月から3月にかけては受験希望の多い官庁や自治体のオンライン業務説明会の情報を発信しています。また、独学で公務員試験受験をめざす学生に対しては、必要な情報を適宜提供しています。

02 就職活動が始まってから

Q 就職活動の状況を話してくれませんか。このまま放っておいていいのでしょうか？

A 無関心はもつてのほかですが、過保護・過干渉もNGです。

無関心はもつてのほかですが、過保護・過干渉もNGです。陰でサポートし必要に応じて最も身近な社会人として、人生の先輩として、常にやさしく見守り、思いやりのある態度で接してあげてください。

Q 内定をもらった会社は名前を聞いたことがありません。そのまま入社させて大丈夫ですか？

A 聞いたことがないというだけで否定せず、業務内容や将来性を調べてみてください。

できることなら有名企業に入って欲しいと思うのは多くの保護者の方が願うことかもしれません。しかし、私たちが知っている有名企業はほんの一握りに過ぎません。普段広告などで目にしない企業にも、優良で、将来性の高い企業はたくさんあります。例えばインフラ系企業、IT系企業、ベンチャー企業などでは、その商品やサービスと企業名が結びつかないこともよくあることです。聞いたことがないというだけで否定せず、どのような仕事をしているのか、将来性はどうか、ぜひ子弟とは別の目線で調べてみてください。特にB to Bといわれる対企業相手の会社の中にも優良な企業は多いです。

Q 面接に落ち続けているわが子に、どのような対応をすれば良いのでしょうか？

A スムーズに内定に至る学生はほんの一握り。前向きな気持ちになれるように支援を。

就職活動でエントリーする企業数は、平均で20～30社になり、内定がもらえるまでに10社以上面接すると言われています。スムーズに内定(内々定)に至る学生はほんの一握りです。ほとんどの就活生は何社もトライしているのです。ご家庭では、志望動機や入社意欲、アピール力が弱くないかをもう一度確認したり、保護者の方の仕事観を伝えたり、模擬面接を行ってみたりしながら、常に前向きな気持ちになるよう、支援してあげることも必要です。また、急かすより、時に一休みさせることも大切です。

Q 履歴書や面接試験では何を見ているのですか？

A 企業理解や仕事への意欲、自己理解とその表現力を多角的に見ています。

履歴書では丁寧に書いているか、汚れていないか、企業研究ができているかどうか、自分のことを客観的に見ることができ、わかりやすい文章で表現できているか、また、学生時代に頑張ってきたことが文章を読んで具体的にイメージできるかなどを見ている。面接試験ではコミュニケーション力のほか、元気ではつらつとしているか、企業研究ができているかどうか、やりたい仕事がイメージできているか、自己分析がしっかりとでき、自分の強みを理解しているか。また、その強みが会社の中で生かせるか、自ら進んで仕事に取り組めるか、などを見ている。就職キャリア支援センターではそれらに対する講座を実施し、面談でアドバイスをを行っています。

Q 就職活動で行き詰ってしまったら、メンタル面でのサポートはありますか？

A 就職キャリア支援センターでは「臨床心理士」の資格を持つスタッフとの相談もできます。

「臨床心理士」の資格を有するスタッフがキャリアカウンセラーとして定期的に相談に応じています。就職活動に疲れてしまったり、思うように進まなかったりする場合には、相談にお越しください。

03 就職活動後半戦では

Q 内定が取り消しになってしまいました。保護者としてどのような対応をするべきですか？

A 精神的なケアを第一に、就職活動再開のモチベーションを高めてあげてください。

進路が決まって一息ついている時だけに、就職活動をやり直す気持ちになかなかたならないものではありません。だからと言ってそのまま就職を諦めてしまったり、その後の人生を変えてしまうことにもなりかねません。精神的なケアを第一に、就職活動再開のモチベーションを高めてあげましょう。内定取り消しの理由によっては法に抵触する場合がありますので、企業への対応については就職キャリア支援センターにご相談ください。

Q 希望する企業から内定がもらえません。翌年受け直すという選択肢がありますか？

A 新卒のタイミングを逃さず、正社員として就職するようアドバイスを！

新卒であるということも、就職の条件の一つと言っても過言ではありません。内定を得られなかった人が卒業後に就職活動をする「既卒」ということになります。株式会社マイナビの調査によると、卒業後の活動で大変だったこととして「既卒としての活動の仕方がわからない」「既卒者の募集が少ない」といったことが挙げられていることから、新卒と比べると就活に困難を感じていることが伺えます。子弟がそのままフリーター等が続けるといって悪循環に陥らないためにも、新卒のタイミングを逃さず正社員として就職するようにアドバイスしてあげてください。

Check! 多様化する「筆記試験」と「面接」

「筆記試験」と「面接」は業界・企業・職種、目的に応じて多様化しており、採用試験は複雑になっています。筆記試験の種類とその内容・特徴、面接のさまざまな形式についてまとめました。

■筆記試験の種類と内容・特徴

学力や知識を問う「能力試験」と職務の適性をはかる「適性検査」を課す企業が多く、業界や職種、目的によってさまざまな種類があります。

I 能力試験	
一般常識	国語、数学、英語、社会、理科の5教科で基本的には構成。中学・高校程度のレベルだが、企業ごとに問題の内容が異なる。
時事問題	社会や業界への関心度が問われる時事問題。業界・企業の動向や、事件、政治・経済の動向、社会情勢の変化や世の中のトレンドなどが出題。
専門試験	業務に関わる専門知識が問われる。主に専攻の科目についての学力が試される。
語学試験	主に英語力が問われることが多く、レベルは中学～英検2級程度。和訳長文読解、英作文、語彙の問題という構成。
II 適性検査	
SPI	基礎能力、性格、意欲、行動、情緒などの側面から人物の特徴を明らかにするために、国語能力を測る「言語問題」、数学能力を測る「非言語問題」、職務適性を測る「性格検査」が出題。
CAB	SE・プログラマー職の採用選考やIT業界で使用されることが多いテスト。暗算・法則性・命令表・暗号解読、性格テストで構成。
GAB	コンサルティング業界や証券・商社など幅広い業界で使用されているテスト。言語、計数、性格テストで構成。
玉手箱	大手・人気企業で広く実施されているテストで、能力テストと性格テストで構成。英語は2種類の問題形式がある。企業ごとに異なる組み合わせで実施。
内田クレベリン検査	銀行、鉄道会社、官公庁などで多く使われている検査。能力面を含めた性格・行動特徴を総合的に測定していく。

■面接の形式

採用試験の段階や、人間性・コミュニケーション能力の把握など、それぞれの目的に応じた多様な面接が対面・オンラインで行われています。

個人面接

学生が1人で受ける面接形式。自己PRや志望動機をしっかりと伝えられる。



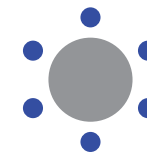
集団面接

複数の学生が一緒に行う面接形式。受験者数を絞るときに行われることが多い。



グループディスカッション

複数の学生がグループになり、与えられたテーマについて討論を行う。



プレゼンテーション

与えられた課題についての企画を立案しプレゼンテーションする形式。



第3章

工学院大学の 就職キャリア支援体制

就職キャリア支援センターが提供する主なサービス

就職キャリア支援センターは、新宿・八王子それぞれに設置され、就職活動に臨む学生を最大限サポートしています。

就職キャリア支援イベント

- 講座: インターン、履歴書、業界・企業・職種研究など就職活動で備えておかなければならない対策講座を時期に応じて体系的なプログラムとして用意。
- 会社セミナー: 企業研究セミナー、合同企業セミナー。

履歴書、エントリーシートの添削

採用活動で必須の提出書類である履歴書やエントリーシートなどの各種添削を行っています。なかなか自分を紹介する文章を書く習慣のない学生に、自己分析や振り返りを通して自己理解を深めさせます。これまでの活動から学生時代に力を注いだことについても考えさせ、的確な助言をします。

就職活動全般に関する相談

就職活動では、実際に始まる前から何かと不安や疑問が湧くものです。その一つ一つを親身になって、丁寧に対応し、解決の手助けをします。キャリアコンサルタントなどの有資格者も相談をお待ちしています。

面接練習

就職活動最大の正念場は、面接試験。複数回行われるものですが、それぞれ段階に応じた面接練習を行っています。

さまざまな就職キャリア支援イベント(予定)

就職キャリアガイダンス／学内企業セミナー／【講座】筆記試験対策ガイダンス／【講座・添削】ESの書き方／【講座】インターンのマナー／【講座】事例で学ぶ面接対策／【講座】生成AIを活用した強み発見・自己PR作成／公務員試験対策ガイダンス／留学生のための就職ガイダンス／障がい学生のための就職ガイダンス など

主な一般企業就職先 30

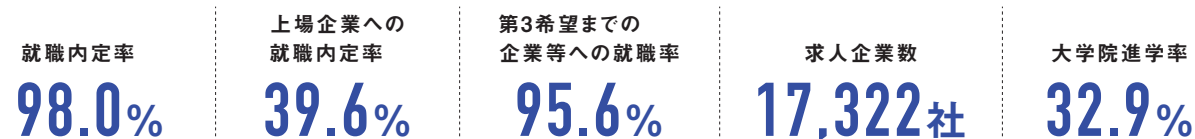
- | | |
|------------------|--------------------|
| 株式会社荏原製作所 | TOPPAN株式会社 |
| 株式会社大林組 | トヨタ自動車株式会社 |
| 鹿島建設株式会社 | 日本電気株式会社(NEC) |
| カルビー株式会社 | 株式会社野村総合研究所 |
| キオクシア株式会社 | 野村不動産株式会社 |
| キャノン株式会社 | 東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本) |
| KDDI株式会社 | 株式会社日立製作所 |
| コニカミノルタ株式会社 | 富士通株式会社 |
| 株式会社SUBARU | 本田技研工業株式会社 |
| ソフトバンク株式会社 | 三菱電機株式会社 |
| 大和ハウス工業株式会社 | 三菱マテリアル株式会社 |
| 東京エレクトロン株式会社 | 森永乳業株式会社 |
| 東京地下鉄株式会社(東京メトロ) | 森ビル株式会社 |
| 東京電力ホールディングス株式会社 | LINEヤフー株式会社 |
| 株式会社東芝 | 株式会社LIXIL |

主な公務員就職先 15

- | | |
|----------------|-------|
| 茨城県庁 | 東京都庁 |
| 岩手県庁 | 函館市役所 |
| 神奈川県庁 | 広島市役所 |
| 川崎市役所 | 藤沢市役所 |
| 警視庁 | 文京区役所 |
| 国土交通省
東京航空局 | 横浜市役所 |
| さいたま市役所 | 横浜税関 |
| 千葉県庁 | |

DATA 数字で見る実績

(2025年度卒業・修了生の実績)





新宿キャンパス

〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2
TEL.03-3340-0132

八王子キャンパス

〒192-0015 東京都八王子市中野町2665-1
TEL.042-628-4886